

記 事

例会記録

第53回日本医史学会神奈川地方会 秋季例会・
日本医史学会 合同例会

令和元年9月28日(土)
鶴見大学会館

企画『戦中戦後の医療・看護体制を振り返る』

講演I

衛生兵の語りから受け継ぐ歴史

——元衛生兵へのインタビューを通して——

順天堂大学医学部医史学研究室 鈴木紀子 先生

講演II

第二次世界大戦におけるビルマ派遣日本赤十字社
救護看護婦の復員過程

日本赤十字看護大学 川原由佳里 先生

特別講演

沖縄で活躍した最後の医介輔：父の生涯を見つめて
社会医療法人敬愛会理事長 宮里善次 先生

日本医史学会10月例会

令和元年10月26日(土)

順天堂大学御茶の水センタービル6階601教室

1. 結核予防協会と結核予防会

——医療と社会の転換期の視点から——

渡部幹夫

2. 「時に癒し、しばしば和め、常に慰む

——guerir quelquefois, soulager souvent, consoler
toujours」の出典について

森岡恭彦

日本医史学会11月例会

令和元年11月16日(土)

順天堂大学センチュリータワー北405

I 矢数医史学賞 受賞記念講演

1. 宇津木昆台とその『日本医譜』編纂

町泉寿郎

2. インターネット上でいかに医学古典文献資料
を使うか

小林健二

II 沖縄長寿説の成立と展開

——琉球政府第1回生命表と関連資料からの
分析——

逢見憲一

例会抄録

長谷川泰の再評価

殿崎 正明, 山本 鼎

長谷川泰の略歴

長谷川泰(以下泰)は、1842(天保13)年8月、
新潟県長岡市福井町に生まれ、幼名は太一(多
一)、泰一郎、泰と称し、蘇山・蘇門同人・柳塘

などの号を用いた。泰は少年期14歳から17歳の
3年間、良寛と交流のあった長岡藩の儒者鈴木文
台の漢学塾「長善館」にて漢学を学び、父宗済に
漢方医学を学んだ後、一時長岡に帰藩していた鶴